



「みんな同じ」の意味

施設長 浅見 僚子

2月1日、うれしい交流がありました。南町小学校の2年生1グループ（8人）が、生活科の「ちいきたんけん」の学習の一環として、たんぽぽを訪問してくれました。（感染予防のため、玄関先での交流になりました。）このグループは訪問先にたんぽぽを希望してくれた子ども達だそうです。学校のすぐ近くにあるのに、児童の皆さんも付き添いの保護者の方々もみんな初めてということでした。



「たんぽぽ」を手話で・・・利用者さんともごあいさつ

2年生との交流を見ながら、3年前の4年生との学習を思い出しました。南町小学校の4年生の学習において、障害についての理解を深めたり、たんぽぽの存在を知ってもらうために、私が学校を訪問してお話をさせていただいたり、4年生全員にたんぽぽの中を見学していただいたりしました。

たんぽぽ訪問の事前授業の際、私は「4年生のみんなと同じ」ということを伝えたくて仕事や活動において『がんばっていること』を映像や具体物を通して伝えました。

たんぽぽ訪問後のまとめで書いてくれた子どもたちの感想には

- ・障害があっても自分のことは自分でできるよう努力しているところがすごいと思った
- ・ぼくは、見学をする前までは、障害のある人を見たら笑っていた。でもバカにすることはひどいことだと今は思う。たんぽぽはいい所だと思った。

といった内容があり、利用者様の努力を知り子ども達が障害について考えるきっかけになったという手応えを感じていました。

しかし、その中にはっとさせられた文章がありました。「障害が重すぎて働けない人はいるのですか」という質問です。仕事や活動ががんばっています、のアピールだけでは危険だったということに気付かされました。

『生産性』や『働く』視点を強調してしまうと、子ども達にとっては重度の障害があって働けない方や動けない方も「みんな同じ」と理解することが難しくなってしまうのではないかと。誰でも存在そのものが尊いものであり、「みんな同じ」とは「一人一人の命はみんな同じ」ことなのだということも、子ども達に伝えていくべきだと反省させられました。

命の価値という言葉が使われることがありますが、価値付けを行おうとするならば、何らかの条件が必要になり優劣が生じてしまいます。命は価値付けするものではなく、すべての人にとって『生きている』こと自体が尊重されるべきものです。障害者も健常者も関係なく、一人ひとり人間はみんな違いがありその違いをまるごと認め合い、補い合い、お互いに尊重し、時には楽しんだりできることが、共生社会の実現への一歩だと考えます。障害者が生きやすい多様性を認める社会は、すべての人が生きやすい社会になるはずで、ありのままの違いを認めることがお互いの存在を認め、ひいては「すべての命」を尊重することにつながるのだと思います。

龍鳳の理念に「生涯発達」というキーワードがあります。利用者様が自分らしく輝ける場やチャンスを微力ながら支援させていただいています。利用者様から支援者がいただいているものもたくさんあります。利用者様の成長やがんばりを伝えながら、『命の重さはみんな同じ』ということを確認たる基盤とし、違いを認め合う社会を目指して今後の地域交流を推進してまいります。

3月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 開所日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 春分の日	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

自主製品のご紹介

猫たちの新しい仲間が増えましたのでご紹介させていただきます。茶ブチねこ と 三毛ねこは黒ねことは別の作家さんが描いてくださった作品です。この度、クッションとして KURUMIRU にて販売させていただいております。他販売イベントでは、トートバッグ、キーホルダーやピアス、ブローチとして展開しており、好評をいただいております。



黒ねこ



三毛ねこ



茶色ブチねこ



<クッション価格>

・黒ねこ…2,400円 / ・三毛ねこ…2,600円 / ・茶色ブチねこ…2,600円

他の猫さん達も続々と登場しております。

自主製品を発信しています

Instagramのご紹介

スマートフォンのカメラアプリを立ち上げ、右のQRコードにカメラを向けると、URLが認識され、タップをすると、WEBサイトにアクセスできます。



HOUKITOTIRITORI.T

皆様のアクセス
お待ちしております！



～地球の未来のために～

たんぽぽSDGs

	ロゴ	目標	りようしゃさんがとりくむこと	職員がとりくむこと
1		貧困をなくそう	じぶんにあったしごとをがんばろう	平均工賃1万円をめざす！
2		飢餓をゼロに	のこさずたべよう	フードロスをなくす（調理のむだなし・昼食適正量の提供）
3		全ての人に健康を	てあらい・うがい しょうどく・マスク	感染予防の徹底 交通事故・車両事故ゼロ
4		質の高い教育をみんなに	しっぱいをおそれず ちょうせんしよう	小さな前進を信じて 利用者様の力を伸ばす
5		ジェンダー平等を実現しよう	だれとでもなかよくしよう	男も女も子育てや介護をしながらもキャリアアップできる制度の整った法人でありたい
6		安全な水とトイレを世界中に	みずをむだにしない といれをきれいにつかおう	節水に努め、トイレをきれいに使おう
7		エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
8		働きがいも経済成長も	やりがいをもって、さぎょうやかつどうをしよう	ワークライフバランスを考えて仕事をしよう
9		産業と技術革新の基盤をつくろう		
10		人や国の不平等をなくそう	みんなですけあおう	偏見をなくし、困った時には助け合おう
11		住み続けられるまちづくりを	さいがいのときに、どうすればよいかをしよう	災害に強い体制づくり
12		つくる責任 つかう責任	さいりょうをがんばろう	ゴミの量を減らそう ペーパーレスの推進
13		気候変動の具体的な対策を	せつでんをがんばろう	小さな節電を積み重ねよう
14		海の豊かさを守ろう	はんどそーぶをつかいすぎないようにしよう	洗剤やソープを使いすぎないようにしよう
15		陸の豊かさも守ろう	就B・・・うらがみをつかおう 生介・・・いろがようしをたいせつにつかおう	紙をむだにしない
16		平和と公正を全ての人に	たのしいたんぽぽにしよう	権利擁護の理解を深めよう
17		パートナーシップで目標を実現しよう		

今年度のたんぼぼのSDGsの取り組みは「17の目標をしっかりと読もう」と「身近でできることをさがそう」でした。毎月の全体会議で、少しずつ目標を確認し、できること・やれそうなことを協議しながら決めていきました。

利用者様ができそうなことは、就B・生介それぞれの代表者の方と相談しながら決めていきました。出来上がった内容は、1階の廊下に掲示してあります。一人一人がすぐできることですから、これからも、たんぼぼのみんなで意識して、決めたことにそれぞれ取り組んでいきます。



代表のお二人です！
できあがり記念撮影！



じぶんにあったしごとをがんばって
平均工賃1万円達成できそうです！！



→あたらしいしごとにちょうせん
やりがいをもってさぎょう



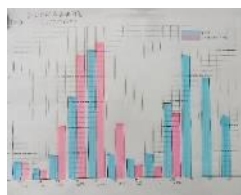
刺繍ができるよう
になりました



お昼のご飯量を再確認しました。(少なくした方は2名)
調理では、むだを省いて→ブロッコリーの芯もおいしいよ！



小さな節電の積み重ね
→グラフで見える化



ピンクが今年度。昨年度より節電できています。
でも、電気代は高くなりました～～。



洗剤やソープは適量を
→掲示物で意識化を
会議はペーパーレスで実施
→PCデータを見ながら会議



全体会議(室温を下げてマフラー
上着を着用しています)



トイレは自分たちで掃除しています
今年度から、生活介護の利用者様も掃除をしています。



リサイクルキャンドルの売れ行きも順調です。

ご協力いただいている皆様、
ありがとうございます。



来年度からは、法人全体の目標を設定して各事業所で取り組んでいきます。大目標は『地域共生社会の実現』です。たんぼぼでは「地域とのつながりを深めよう」という目標を設定しました。

コロナ禍で地域に出かけることが減少していましたが、来年度からは積極的にイベント参加や交流を進めていきます。また、地域の様子や困りごとなどを教えていただき、たんぼぼの持っている知識・情報・人脈などを使ってお役に立てることはないか、ということも摸索していきます。保護者の皆様、地域の皆様もご意見がありましたら、ぜひお寄せください。
(文責：施設長 浅見僚子)